

森のおくりもの4月



トウゴクサバノオ（キンポウゲ科）



春の花が次々と咲き始めたと思っていたら、冬に戻ったかのような雪景色になったりしています。もうすぐ平成から次の元号へ移ろうとしています。太白山自然観察の森は、平成になってまもない平成3（1991）年の6月6日にオープンしました。その頃には普通に見られた生き物が、この頃は見かけなくなった生き物がいる一方で、その頃には見られなかったのに今では普通に見かけるようになった生き物があります。わずか30年の間でも着々と変化しています。これからはどんな時代になるのでしょうか。 【写真・文 早坂 徹】

赤と黄色の カエデの花



葉の展葉と同時に花が咲くカエデの仲間。柔らかい小さな葉もかわいらしいですが、赤や黄色、緑色の花もなかなか素敵です。雄の木と雌の木が別になるもの、同じ木でお花め花がつくもの、4月中に種のプロペラ部分が顔を出すものもあります。今月は葉が茂る前に是非、カエデの花を観察してみてください。

【ハウチワカエデ】

雄性同株

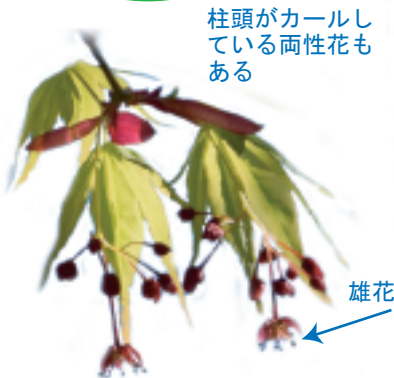
■たね
受粉が終わって種のプロペラが
もうできている

両性花



雄花

赤色



柱頭がカールし
ている両性花も
ある

雄花

雄性同株

両性花と雄花がある

【イロハモミジ】

【イタヤカエデ】

雌雄同株



葉

黄色～淡緑色



雄花

雌雄異株
まれに同株

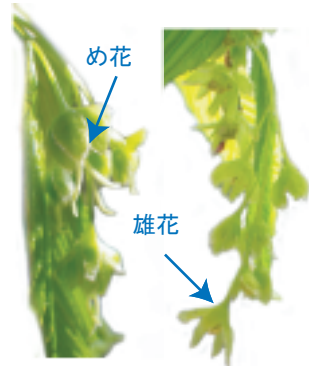
【ウリハダカエデ】

【ミツデカエデ】

雌雄異株



雄花



め花

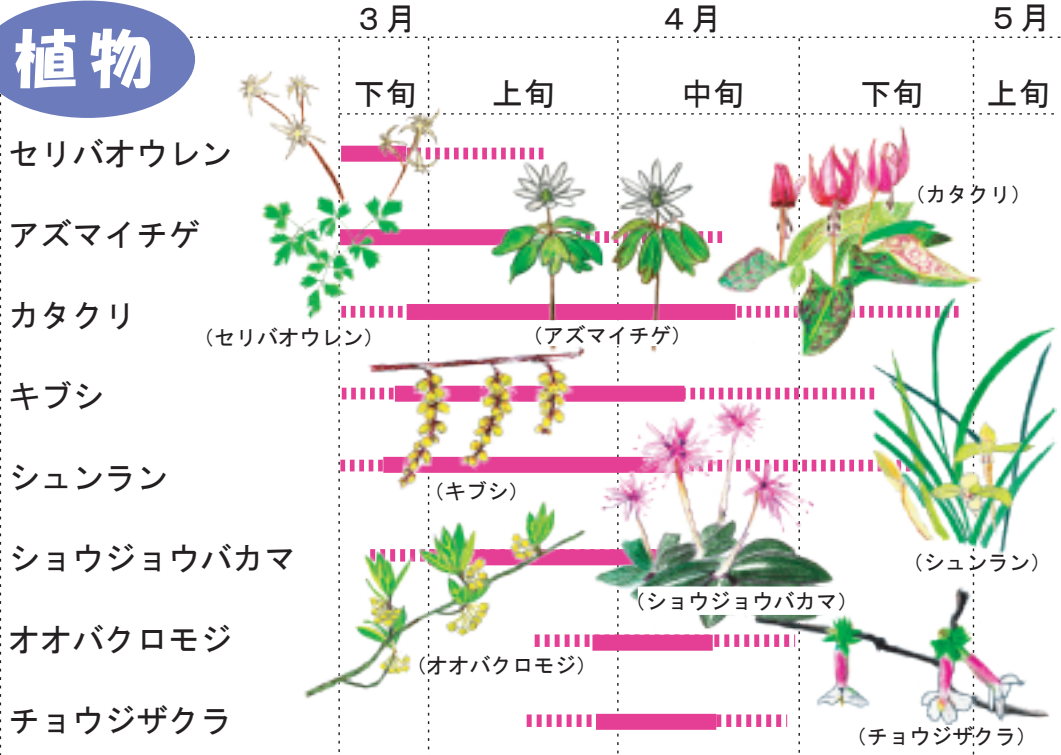
雄花

雌雄異株

【チドリノキ】

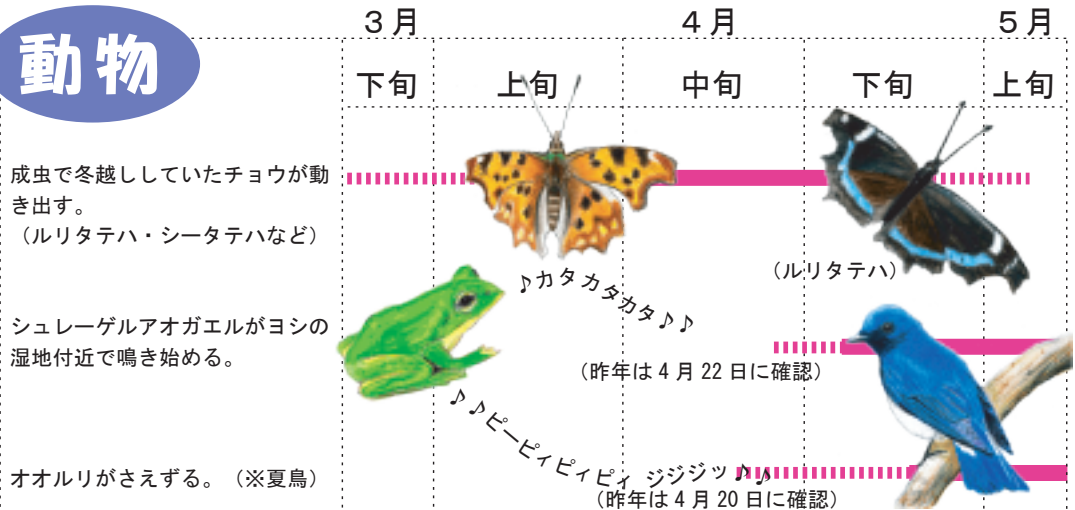
4月の生物ごよみ

植物



毎年のようにこの時期になるとスギ花粉に悩まされ、今年は昨年と比べやや多いとの予報。私も花粉症のため、昨年までの薬では効果がなく、病院にてさらに増やしてもらいました。森では草花の開花があちらこちらから聞こえてくるのに私にとってはとても憂鬱な季節でもあります。カタクリは昨年とほぼ同じで3月19日に蝶の野原で開花が確認されました。

動物



【レンジャー：齋 正宏】

※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

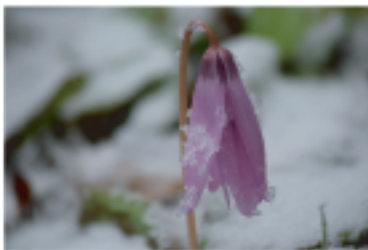
『面壁九年（めんぺきくねん）』

季節は春だというのに、このところ冬と春が行ったり来たりしているかのような天気ですが、あちらこちらで眠りから覚めた草木の芽や花が次々と萌え出しています。いつの間にかカタクリがたくさん咲いていて、着実に春が進んでいるのを感じます。

カタクリは、種子が発芽してから毎年少しずつ成長し、初めて開花するまでに7～10年もかかります。この生態から浮かんだのが『面壁九年』。これはあのダルマのモデルの達磨大師が中国の少林寺に籠り、9年間も壁に向かって座禅を組み悟りを開いたという故事から「一つのことには忍耐強く専念すること。長い間脇目もふらずに打ち込んで努力すること」という言葉です。カタクリが花を咲かせて実を結ぶため、コツコツ努力して何年も頑張っている姿勢に重なりました。

カタクリは、木々が葉を茂らせ日光を遮ってしまうまでのわずかな期間で光合成をして養分を鱗茎に蓄えます。地上部を枯らして休眠し、また春に出現しますが、花を咲かせられるかどうかは養分の蓄積具合によって決まります。平均寿命は40～50年くらいだそうです。カタクリの群落を見て、この花は小ぶりで初々しいから初めて咲いた新人さんで、この大きくて立派なのは脂がのった中堅さんなのかなあと、実際はわかりませんが想像して楽しみました。

私も人生の後半を過ぎましたが、カタクリを見習ってひと花咲かせられるよう、まだまだ頑張らねばと思いました。 【レンジャー：新田隆一】



森の「おとしもの」



その12 「どこの誰かは知らないけれど」

右の写真、何かわかりますか？

「これって葉っぱなの？」と聞いてくる人もいました。確かによく見ると不思議な形。このとげとげの一本が一枚の葉。「スギ」(杉)です。ではスギから何を連想しますか？と聞いてみると、圧倒的に多いのは悪名高い「花粉症」でした。

「スギって、よく知らないけれど、花粉症を起こす悪い奴」というのが、みんなの知っているイメージでしょうか。ちょっと可哀そうでスギについて少しまとめてみました。



名前の由来は所説ありますが、まっすぐ伸びた立ち姿を連想できる「直木(すき)」からとの説が私は好きです。重要な建築材として秋田の秋田杉や京都の北山杉、奈良の吉野杉など昔からの有名ブランドも多数あります。しかも学名の「*Cryptomeria japonica*」が示すように日本固有種(世界中で日本にしかない)!!ちなみにセンター周辺で観察したリスの巣では内側に細かく裂いたスギの樹皮が使われています。スギの皮は保温性・防虫性・防水性に優れた素材とのこと。日本人にとってもニホンリスにもなくてはならない大切な樹なのです。

最後にもう一つクイズです。スギの葉を材料にしたお墓参りの必須アイテムってなに?答えはこのページの一番下をご覧ください。 【レンジャー: 木田秀幸】



常緑樹のスギの枝葉も枯れて土になります、スギ林の地面は思ったよりふかふかでした。

【クイズの答え 線香(スギ以外にもいろいろな材料を使います)】



4月のイベント & お知らせ

◆おはよう野鳥かんさつ

・春の森を歩き、講師の案内で野鳥の声と姿を探します。

【日 時】4月13日(土)
午前6時半～8時

【持ち物】歩きやすい服装、
観察用具(双眼鏡の貸出あり)
※参加申込み不要です。



◆館長と森を歩こう

・観察の森の館長が春の森を案内します。

【日 時】4月28日(日)
午前10時～11時半

【持ち物】歩きやすい服装
※参加申込み不要です。



◆太白山の春をたずねて

・若葉が美しい季節に講師による自然解説を交えながら、太白山の頂を目指します。

【日 時】4月29日(月祝)
午前10時～午後3時

【定 員】20名(先着)
【持ち物】歩きやすい服装と靴、
雨具、昼食、飲み物

【申込み】4月6日(土)
午前9時から電話で



◆ゴールデンウィーク 特別ガイドウォーク

・新緑の雑木林をレンジャーが案内します。

【日 時】5月3日(金祝) 4日(土祝)
6日(月振替休日)

午前10時～11時半

【持ち物】歩きやすい服装、
飲み物、
雨天時カッパ

※参加申し込み不要です。



毎週

日曜日 『ガイドウォーク』の日!

4月のテーマは「春の妖精たち」

7日、14日、21日、28日です。

開催時間: 午前の部 10:00～11:30
: 午後の部 13:30～15:00

森のちいさなアトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。



4・5月は
「こいのぼり」

ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のため、しばらくの間通行止めになります。

4月の休館日

1日、8日、
15日、22日

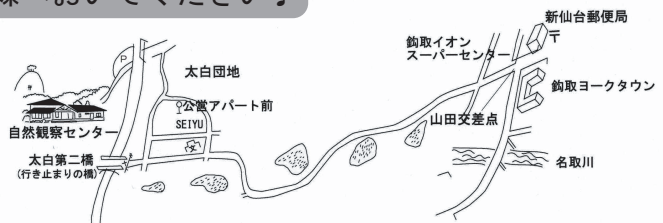
♪森へおいでください♪

宮城交通バスの場合

- | | | |
|------------|-------|-----------|
| ① 仙台駅 | 7番のりば | 乗車時間 約40分 |
| ② 長町駅東口 | 3番のりば | 乗車時間 約30分 |
| ③ 八木山動物公園駅 | 6番のりば | 乗車時間 約10分 |
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘庫庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」)
いずれも③公営アパート前下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック!

2019年4月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>